

平成29年2月21日

二本松市議会議長 様

会派名 野地 久夫

代表者名 野地 久夫



視 察 研 修 報 告 書

当会派において、下記により視察研修を実施しましたので報告いたします。

記

- 1 期 間 平成29年1月23日（月）～24日（火）
- 2 参加者 野地 久夫
- 3 視察地及び視察内容
別紙のとおり



視察行程

	月 日	行 程
1	1/23(月)	<p style="text-align: center;">【東北自動車道】</p> <p>市役所 — 二本松IC — 佐野IC — 足利フラワーパーク — 昼食 —</p> <p style="font-size: small;">8:15 8:20 10:20 11:00~11:40 見学 12:00~12:40</p> <hr/> <p>— (有)月夜野きのこ園 — 利根郡みなかみ町内(泊)</p> <p style="font-size: small;">15:00~16:00 視察 17:00</p>
2	1/24(火)	<p>宿泊先 — 沼田城址 — スネークセンター — 昼食 — 群馬県立ぐんま昆虫の森</p> <p style="font-size: small;">8:00 9:30~10:00 見学 10:45~11:30 見学 12:00~12:40 13:00~14:00 視察</p> <p style="text-align: center;">【北関東自動車道・東北自動車道】</p> <p>— 伊勢崎IC — 二本松IC — 市役所</p> <p style="font-size: small;">14:30 16:30 16:35</p>

【宿泊先】 松乃井 (群馬県利根郡みなかみ町湯野原551 TEL0278-72-3200)

政務活動行政視察報告書

氏名 野地 久夫

- 視察日 平成 29 年 1 月 23 日 (月)
- 視察先 群馬県利根郡みなかみ町後閑 1170
- 視察内容 (有)月夜野きのご園(主にクワガタ菌床育成・販売等を研修)



○視察の感想

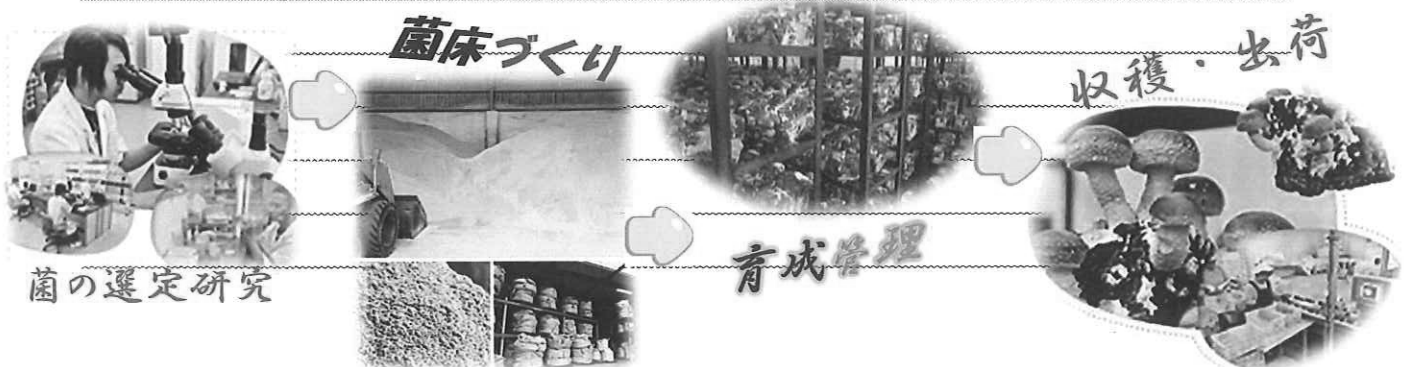
現在、安達ヶ原ふるさと村整備計画中において、施設利用構想を多方面から思慮するため、幼児児童等の集客の一環として、カブトムシなどの販売・育成の取り組みについて研修し、取り組み易いことがわかる研修であった。

○ 視察の成果、市政への反映等

※視察の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

月夜野きのご園概要視察成果

- ・「後閑きのご組合」として平成 4 年に創業、9 年に (有) 月夜野きのご園」に。
- ・シイタケ菌床栽培中心の事業、近年、珍しいきのこに着目し品質にこだわったキノコづくりに取り組んでいる。(谷川茸、雪割り茸)
- ・オガ仕入れ、菌床づくり、キノコ栽培、摘み取り、出荷まですべて一貫して自社で行い、日々品質改善に努めている。
- ・商品出荷はきめ細かな対応で、サイズ別のリクエストや包装に対応、小ロット注文にも対応している。



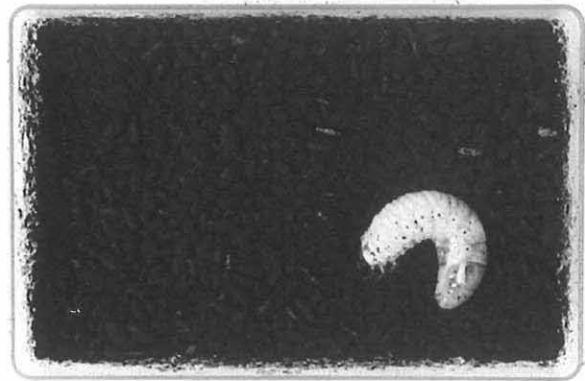
月夜野きのこ園クワガタ菌床販売についての概要視察成果

- ・クワガタ&カブトムシの飼育用品の販売を15年以上継続している。
- ・会員数3万人以上、マット販売500万個以上の販売実績を誇る。

◇幼虫飼育材について⇒木材、発行マット、菌糸ビンが主。



木 材



発酵マット

◇菌床⇒(きのこ菌を蔓延させたおがくずの塊、水分量50%前後)

- ・製造過程 おがくずに水とふすまなどの栄養剤を混ぜる⇒袋詰めビン詰め⇒高温殺菌釜へ⇒水蒸気を送り100℃前後で数時間殺菌⇒24時間かけて冷却、きのこ菌を植え付け⇒23℃の部屋で60日培養



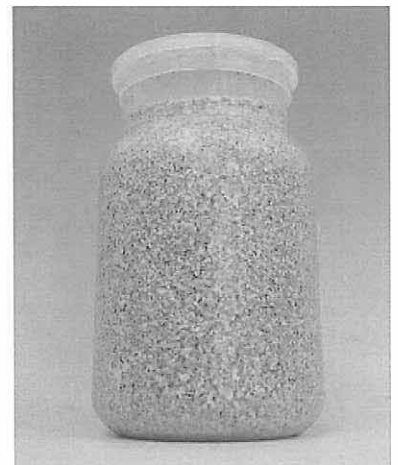
菌糸ビン
(※より大きく育つ)



昆虫発酵マット
10L ¥879



菌糸ブロック
3.5L ¥808



菌糸ビン
1.1L ¥512

◇主な販売品

①カブトムシ (ニジイロクワガタ)

価格 1,380 円

②クワガタ (パラレルスネプト)

価格 1,045 円

③クワガタ (アルキデスヒラタ)

価格 740 円

④カブトムシ専用、産卵チャレン

ジセット 価格 2,980 円

⑤オオクワガタ専用、産卵初めて

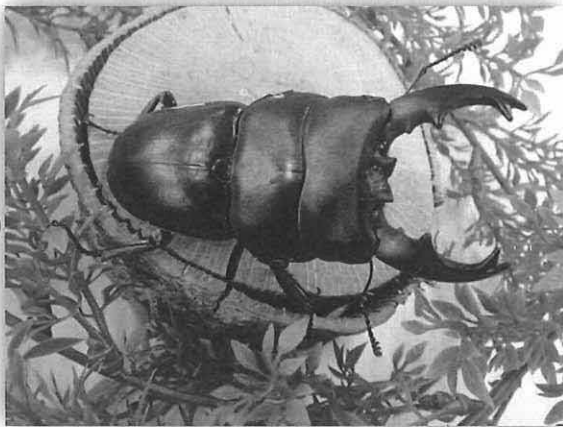
セット 価格 1,058 円



①



②



③



④



⑤

市政への反映等

・育成管理などの技術等の習得につい

ては、難易度は低いものと思われ、取り組み易いと思われる。

・資材、幼虫などの仕入れには問題ないと思われ、当市独自の開拓も考えられる。

・施設整備には、小規模財源で可能と思われるので、積極的に考慮すべきである。

・販売も伴うので、収益が見込まれ、ランニングコストの軽減が図られる。

※子供等の集客には大変有効な施設となりうるものがあるので、積極的に取り組むべきと思われる。

政務活動行政視察報告書

氏名 野地 久夫

- 視察日 平成 29 年 1 月 24 日 (火)
- 視察先 群馬昆虫の森 群馬県桐生市新里町鶴ヶ谷 460-1
- 視察内容 自然環境の多種にわたる昆虫の飼育研究を行っている内容について、規模や営業体系、運営方式などを視察する。

○ 視察の感想

建設費 73 億円の巨大施設に驚き、対象対比の参考にならなかった。

体験イベント等多くのプログラムはどこでも実施できるものであり、大変参考になった。



○ 視察の成果、市政への反映等

※視察の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

群馬昆虫の森の概要について

・群馬県桐生市新里町鶴ヶ谷 460-1 45ha の敷地に棚田、畑、小川など里山体験型施設、世界の昆虫、日本最大のチョウなどを見ることができる。

・開園時間 4月～10月 9:30～17:00

11月～3月 9:30～16:30

・入場料 中学生以下 無料 高校生・大学生 200円

一般 410円 (団体 160円) (※障害者と介護者は無料)

・イベント等について

・自然観察 解説員と季節によって変化する昆虫たちなどの営みを観察する。

・飼育講座 昆虫専門員により飼育方法を解説し、幼虫をプレゼントする。

・里山暮らし体験 養蚕体験、民家暮らし体験、昔遊び体験など体験できる。

・里山歩き体験 園内里山を 1 時間かけて歩く。

・昆虫おもしろ講座 昆虫の話をしたり昆虫の質問に答える講座。

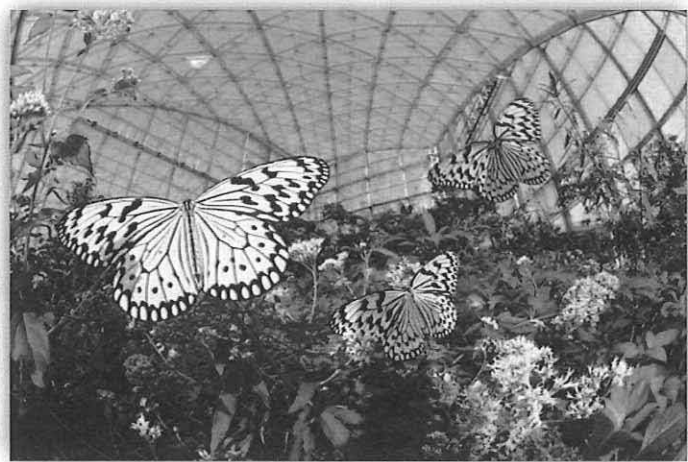
・昆虫の手作り体験 園内で集めた材料などで昆虫模擬等を作る体験。

・ふれあいコーナー 生きた昆虫など手に取って体験する。

・飼育室体験 展示されている昆虫などの飼育状況を視察。

・温室ガイド 昆虫ふれあい温室をスタッフが案内、チョウ放し体験もある。

- ・昆虫教室 標本作りや顕微鏡観察をする。
- ・森のお話会 昆虫を描いた絵本など読み聞かせを通して、一生懸命生きる昆虫たちの世界を一緒に旅する。
- ・スタンプラリー 45haの園内に〇箇所ある昆虫スタンプを集めるラリー。
- ・映像シアター 季節に合わせた昆虫などの映像を上映する。



生体温室 11,000 m²の1年中
昆虫が生息する



昆虫ふれあい生体温室のチョウ

事業運営等について

- ・事業主体 群馬県
- ・建設費 約73億円（地域総合整備事業債で賄い、ほとんど国よりの資金）
- ・運営 入場者が目標を大きく下回り年間約3億円の赤字経営。

二本松市への反映等について

- ・起債事業とはいえランニングコストは莫大、市の事業では成り立たない。
- ・自然や昆虫等とのふれあい、多くの体験イベントなど、今後より必要視されるものと考えられる。規模や運営主体等検討の余地はあるものと思われる。



昆虫学習コーナー
（※なんと昆虫の本など1万冊以上）



行政視察状況

政務活動行政視察報告書

氏名 野地久夫

- 視察日 平成 29 年 1 月 23 日 (月)
- 視察先 足利フラワーパーク
- 視察内容 足利フラワーパークは年間を通して草花等を季節ごとに鑑賞できるが、停滞期である冬季にイルミネーション「光の花の庭」を開催し、冬季の集客を図っている。その実態を視察調査する。

○ 視察の感想

今回の研修は任意での視察であったため、案内説明なしの見学だった。経営形態や財務状況等調査できなかったが、より集客しようとする素晴らしい施策が随処に見ることができ、大変に参考になる視察であった。

施設整備設置には、莫大な費用が見込まれていると思われるが、二本松市の既存施設においても、可能なところから財源等を考慮して取り組み、子供達や若者が集まる活性化のある町づくりには、大きく寄与できるものと思われる。

○ 視察の成果、市政への反映等

※視察の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

足利フラワーパークの概要

・栃木県足利市迫間町 607 ・敷地面積 82,000 m²

・開園時間 9 時～18 時 (3～11 月)

※「藤の花物語」期間 7～21 時まで延長

10～17 時 (11 月下旬～2 月)

※イルミネーション期間 21 時まで

・年間入場者 100 万人以上

・入場料 右表

・藤 4 月中旬～5 月中旬かけて見頃

夏季花の停滞期 (7～8 月) は

レーザーライトショー (レーザー光線と音楽・レーザー光線とミストシャワー) による「ウォーターショー」が行われ、縁日屋台や「プレイスポット」が設けられ、園内は夏祭雰囲気となる。

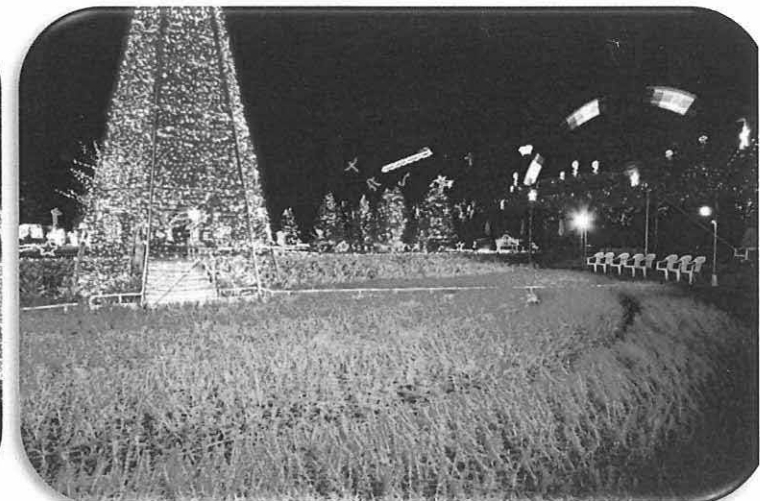
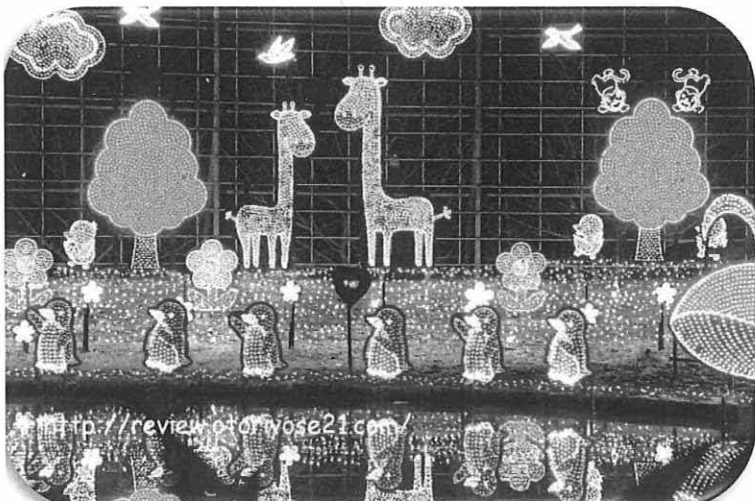
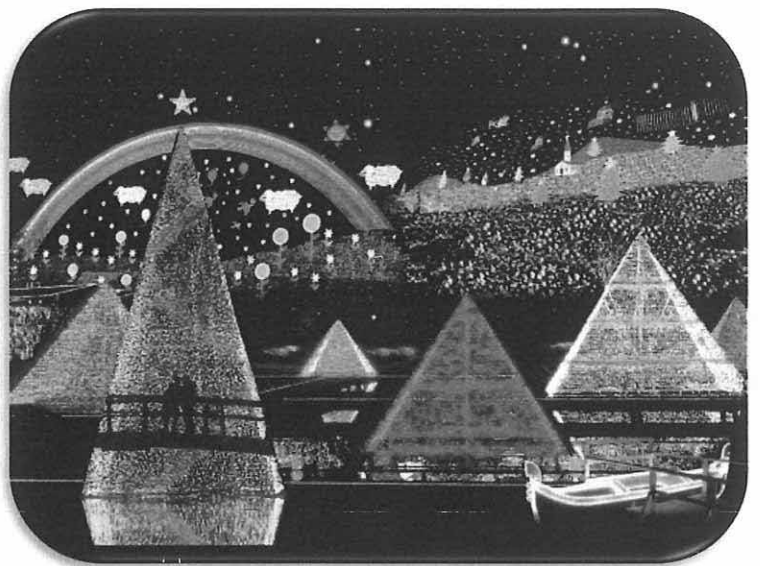
足利フラワーパーク入場料金

	大人(中学生以上)	子供(4歳～小学生)
3月上旬～4月中旬	300円～1200円	200円～600円
藤の花物語機関	900円～1700円	500円～800円
4月中旬～5月中旬	(昼間・夜間同料金)	(昼間・夜間同料金)
5月中旬～6月下旬	500円～1200円	300円～600円
7月～2月	300円～700円	100円～400円
イルミネーション期間 10月30日～1月23日	700円(夜間料金)	350円(夜間料金)



・冬季（10月下旬～2月上旬）のイルミネーション「光の花の庭」はLED電球約300万球使用した大規模なもので、夜景観光「関東三大イルミネーション」に指定されている。

冬季イルミネーション「光の花の庭」



- ・大藤棚 樹齢約 150 年、美しく幻想的に映る世界 1 の大藤
- ・白藤、きばな藤 約 80m に渡って続く白藤トンネル



大藤



白藤トンネル

市政への反映等について

- ・安達ヶ原ふるさと村の更なる活性化には、LED イルミネーションの活用は大変有効に思われる。夕暮れ後の春の桜、夏の草花、秋の曼殊沙華などとのマッチング、冬のクリスマスや年末年始のイルミネーション公園など考慮し、費用対効果を検証すべきと考える。
- ・年間を通して「〇〇花の季節」としてテーマを設け、季節ごとの花を楽しめる公園とする。

政務活動行政視察報告書

氏名 野地久夫

- 視察日 平成 29 年 1 月 24 日 (火)
- 視察先 ジャパンスネークセンター

○ 視察内容 毒蛇を利用して血清を製造保管し、咬症発生時に搬送提供をしている毒蛇研究の国内で唯一の研究機関である、小動物の飼育管理状況を視察し見識を深める。

○ 視察の感想

今回の視察は自由視察で、説明案内の予定は無かったが、運よく学術研究の先生が在中されており説明案内を受けることができた。

大変珍しい貴重な体験研修であり、未知の見識を深めることができた。

視察の成果等

- ・群馬県太田市藪塚町 3318
- ・所有管理運営者 日本蛇族学研究所
- ・スネークセンター概要
 - ・入場料 1000 円
 - ・蛇類を専門的に研究利用展示する動物園
 - ・国内唯一毒の血清を製造保管し、咬症が発生時に発送する。
 - ・マムシの飼育、世界の毒蛇等を飼育展示
 - ・近年は警察等で押収保護された引取手。
- ・主な施設
 - ・屋外飼育施設 マムシ、シマヘビ等露店の囲い内で飼育している。
 - ・毒蛇温室 毒蛇を中心に飼育する温室棟

<ジャパンスネークセンター入口>



<毒蛇温室>



<毒蛇温室内展示場>



<アミメニシキヘビの表皮・約7mの長さ>

- ・巨大蛇温室 ニシキヘビ、ボア等大型蛇を飼育する温室棟
- ・熱帯蛇温室 猛毒のグリーンマンワバやブラックマンバ等飼育する温室棟
- ・資料館 収蔵した骨格標本や透明標本剥製などを展示
- ・採毒室 毒蛇の血清を作成のため採毒を行う施設



市政への反映等

- ・血清について要請により出荷することとであり、主要病院に備蓄されていることと、近隣では福島医大にあるとの説明があった。
- ・北海道から九州まで8種類の蛇が生息しているが、毒蛇はマムシとヤマカガシのみであり、マムシの咬症は早急に適切な処置をしなければ死に至る危険性がある説明を受け、その危険性を理解できた。

<赤マムシ>



- ・マムシによる受傷直後であまり腫れも進行しなくても、重症化するかの判断はできず必ず経過観察が必要であり、腫れの進行に伴って出血傾向や急性の腎不全を起こし、急激に血小板の減少があり大変な危険な状態に陥り、死に至ることになることが理解できた。
- ・咬症の状況により1日で死亡に至ることもあれば、死亡まで数日、1か月の場合もあることの説明を受け、マムシ咬症の恐ろしさが改めて理解できた。